



東京大空襲の記憶を語り継ぐ

戦中・戦後を生きた女性が伝えたいこと

日時

令和8年 11月8日（日）13:30～15:30

会場

男女共同参画推進センター(パルシティ江東)
3階 第1・2研修室

語り部

上原 淳子さん



(89歳) 力。

江東区深川で育ち7歳の時に東京大空襲を体験。中村高校、法政大学を卒業し、国内外で社会人として働く傍ら地域活動に取り組み、女性の地位向上や地域社会の発展に尽力。

亀谷 敏子さん



(95歳)

東京大空襲時は13歳。深川白河町で被災し6人の家族を失う。少年兵の兄も戦死。戦後は公務員として働く傍ら「原爆の図」の解説者としての活動や語り部として活躍。

募集人数

40名 *小学生以上のこども同伴可能ですが
定員に空きがあれば当日参加可能です

受講料

無料

申込み

令和8年10月5日（月）午前9時～
電話、窓口、ホームページにて受付（先着順）

保育

満1歳6ヶ月～就学前（無料、申込時要予約）
*保育ご希望の方は令和8年10月22日（木）までにお申し込みください。（先着順）

主催：江東区

企画：東京子ども核廃・江東の会

企画協力：男女共同参画フォーラム実行委員会

こちらからもお申込み
いただけます

申込み・問合せ：江東区男女共同参画推進センター（パルシティ江東内）
江東区扇橋3-22-2 電話03(5683) 0341
（第2・4月曜休館（祝日は開館）受付時間9:00～21:00）



【東京大空襲】

昭和20年（1945年）3月10日未明、300機を超えるB-29（米軍機）が空襲を行い、38万発に上る爆弾や焼夷弾（およそ1,700トンものナパーム性焼夷弾）が投下されました。この空襲による被害は死者10万人、罹災者100万人以上に及びました。

＊爆撃は2時間余りで終わったものの火災は猛威をふるい続けて、一夜にして東京東部は見渡すばかりの焼け野原となりました。

＊江東区を含む東京下町地区一帯は焦土と化し、多くの尊い生命と財産が失われました。



往年のベアテ・シロタ・ゴードンさんと上原さんの写真です。ベアテさんは1946年GHQによる憲法草案起草の命令を受け、「社会保障と女性の権利」の条項を担当しました。憲法草案に「男女平等」を取り入れた女性です。



丸木位里・俊夫妻が描いた「原爆の図」は1950年以降、国内外で巡回展が開催されました。神戸大学での巡回展で解説者であった亀谷さんと学生たちの写真です。



会場のアクセス



※お車でのご来場は
ご遠慮ください。

▶ 都営新宿線・
東京メトロ半蔵門線

「住吉駅」下車
B1出口より
徒歩約12分

▶ 都営バス

東22系統「扇橋二丁目」下車 徒歩約6分 秋26系統「扇橋三丁目」下車 徒歩約3分

